

会 議 録 （要旨）

会 議 名	第 29 回瑞穂町行政評価委員会
開 催 日 時	令和 7 年 10 月 30 日（木） 午前 10 時から午前 11 時 25 分まで
開 催 場 所	瑞穂町役場 庁舎 2 階 会議室 2-1、2-2
出 席 者 及 び 欠 席 者	（行政評価委員） 出席者：池田委員長、木村副委員長、中村委員、石川委員、根岸委員 橋爪委員、上坂委員、吉川委員 欠席者：関谷委員 事務局：渡辺企画政策課長、福島企画推進係長、若菜
議 題	1 第 5 次瑞穂町長期総合計画後期基本計画（案）について 2 その他
傍 聴 者	2 名
審 議 経 過 （主な意見等を原則として 発言順に記載。同一内容は一つにまとめた。）	1 開会 ・池田委員長から会議公開についての説明が行われ、会議が進められた。 ・渡辺企画政策課長より事前配布資料、当日配付資料の説明が行われた。 2 議題 （1）第 5 次瑞穂町長期総合計画後期基本計画（案）について ○事務局から説明 （池田委員長） ・町の最上位計画であるので、全員からご発言願いたい。順番に指名させていただきます。 （石川委員） ・その前に、No. 6 駅、No. 7 駅の場所を確認したい。また、多摩都市モノレールが開通した場合、立川駅までの所要時間、料金についても確認したい。 （事務局） ・No. 7 駅は J R 箱根ヶ崎駅直通となる。No. 6 駅はジョイフル本田の東側である。所要時間は 30 分程度、料金は J R に比べるとやや高いと想定している。 （木村副委員長） ・ J R 箱根ヶ崎駅直結とのことだが、国道 16 号線をクロスするのか。 （事務局） ・新青梅街道から側道を入り、 J R 箱根ヶ崎駅の方に向かっていく。 （池田委員長） ・それでは上坂委員からお願いしたい。

(上坂委員)

- ・多摩都市モノレールが瑞穂町に延伸されるのは大変喜ばしいことである。スポーツ施設について、都心方面から瑞穂町に向かう途中に立川市などで別の施設がある。そういった他の施設と差別化できる、魅力ある施設に期待したい。狭山丘陵では、今後、高齢者の方も多くなるので、子どもたちを含め、ハイキングや自然を楽しむには多摩都市モノレールの駅からは少し遠いと感じるので、コミュニティバスなど交通利便性を高め、どれだけ人を集約できるのか期待したい。ふれあい農業については、どの程度需要があるか分からないが、収穫に関心ある世帯が多いと思うので、見極めが出来ればいい。弊社は横田基地沿いにあるので、コミュニティバスなどが充実すれば従業員も大変ありがたい。会社関係のオフィスの利用価値や横田基地のアピールにも繋がることに期待したい。

(石川委員)

- ・スムーズに工事が進み、工事費が高騰せずに、乗車料金が抑えられることに期待したい。多摩都市モノレールのことに話が寄っているが、JR箱根ヶ崎駅は朝晩の窓口サービスが実施されず、不便な状況が続いている。多摩都市モノレール延伸による相乗効果で人が増え、改善されることに期待したい。瑞穂町は通過してしまう町のイメージをよく持たれるので、多摩都市モノレールの終点となれば、存在価値や印象は大きく変わる。見晴らしも大変良いと思うので、多摩都市モノレールから見る観光の視点も、アピールになると思う。期待している。

(橋爪委員)

- ・スポーツ施設について、町民が使用するイメージなのか、幅広く多くの人に使ってもらうイメージなのか、それにより施設の大きさも変わってくると思う。今の既存体育館と同規模であれば、町民の方に使ってもらうイメージなので、公式記録が取れるような、様々な種目で使用できるもう少し大きい施設になればよい。多くの人に来ていただき、瑞穂町を知ってもらうきっかけになれば嬉しい。ふれあい農業については、地権者が多いと思うが、まとめることはできるのか。スマート農業も謳っているのに、莫大な資金がかかると感じる。財源はどこから捻出するのか。工場の需要も多いと思うので、農業だけでなく工業も注視してほしい。

(根岸委員)

- ・多摩都市モノレールが延伸されることで必然的に町が変わっていくと思うので、相乗効果の視点は非常に重要であると感じている。No.6駅周辺に様々な施設を、というお話であったが、土地はあるのか、公共施設を整備する財源があるのか気になった。延伸のメインは2駅周辺だと思うが、それ以外の

地域のメリットをどのように広げていくのか検討が必要である。人の移動以外の観点で、他の地域の方々への配慮が重要である。施設の集約化やコンパクトシティの考えがあれば、そこをアピールしていくと説得力があると感じる。延伸によるメリット・デメリットもあると思うが、沿線地域の人口が増えることを想定した計画も必要。PPP/PFIも財源確保が重要だと思うので、今後そのことをより深く考えていく計画になることを期待したい。

(吉川委員)

- ・少し多摩都市モノレール延伸の話からは離れてしまうが、基本目標2の青少年の健全教育について、インターネットトラブルやいじめ、犯罪などは警察などと連携はできないか気になった。また、人権教育の尊重施策では、弁護士会や司法書士会、行政書士会などの意見を聴きながら実施できたらよいと感じる。

(中村委員)

- ・この後期基本計画(案)に、新町長が町のリーダーとして、在任期間中に実現したいことが読み取れない。また、学校教育について、町の行政単位で小学校教育を考えるのは限界と感じる。第5小学校は少子化の影響を大きく受けており、統廃合を含め町の行政単位を超えた取り組みが必要。発想を広げて、計画に盛り込むのはどうか。

(木村副委員長)

- ・多摩都市モノレール延伸により瑞穂町が発展することにとってもわくわくしている。他の委員からも発言があったが、延伸による新駅周辺の地域だけでなく、他の地域の住民も使いやすいよう、公共交通などを充実させてほしい。すべてを一度に取り組むことは難しいと思うが、そういう人たちのことも視野に入れていることが伝わるような発信も大事だと感じる。No.6駅周辺のスポーツ施設は、誰でも使いやすく、町外から来る人も利用しやすいように駐車場等が完備されている施設になることを期待したい。少しでも多くの人々が幸せな気持ちになれば嬉しいと感じる。

(池田委員長)

- ・多摩都市モノレール延伸に目が行ってしまうが、八高線が後退化してしまっていると感じる。町の唯一の鉄道であるため、注力していただきたい。新駅周辺は動きが大きいと思うが、町の中でも栗原地区など過疎的な地域も存在するので、延伸による相乗効果で一緒に発展していけたらよいと感じる。町長への手紙では、様々な意見が来ると思うが、計画が良い方向に向かうよう、反映させていってほしい。行政評価委員がせっかくいるので、会議の場を充実させていきたい。

(事務局)

- ・様々な意見をいただき感謝する。山崎町長は、令和7年第2回議会定例会の所信表明演説で、多摩都市モノレール延伸とそれに付随したインフラ整備に重きを置き、住民の皆さんにわかりやすいよう6つの目標を掲げられていた。後期基本計画策定にあたり、多摩都市モノレール延伸が大きな目玉となっている。計画の見せ方についても、住民にわかりやすい計画となるよう、引き続き検討していきたい。今後、町としてもスポーツ施設や学校施設の統廃合・再配置が大きな課題となってくるので、施策の選択と財源の確保に注力し、町としてどのような施設が必要なのか、町全体を俯瞰することを忘れずに取り組んでいきたい。

(橋爪委員)

- ・国道16号線に道の駅の検討はしていただけるのか。

(事務局)

- ・ご意見として頂戴する。

(根岸委員)

- ・委員長からも発言があったが、八高線の件は是非ともご留意いただきたい。八高線と多摩都市モノレールの二つの路線が充実することで、より町の価値が高まることに期待したい。

(中村委員)

- ・未来に繋がる種を計画の中に盛り込んでいただけることを期待したい。

(石川委員)

- ・八高線の件はもっとアピールしても良いと感じる。

(池田委員長)

- ・駅に資金を投入し、充実を図っていただきたい。バス路線の充実なども検討してほしい。

(事務局)

- ・ご意見いただき感謝する。

議題(2)「その他」

○事務局から11月21日(金)開催予定の補助金等審査分科会について説明。

閉会 午前11時25分